

を求む。

本沢君。拡大執行委員会に出してゐる。議事録を見て頂きたい。

杉浦君。拡大執行委員会は規約通りにやつたのである。たゞ各支部の意志を一層よく反映せしむるために、便宜上、拡大執行委員会の承認を得て資格を拡大し、支部長、常任委員も加へたのである。

青柳君(京橋)。評議会内の金屬産業協議会と二百に一度開くことになつて一月にも南く宮になつたが、どうしたか。又、同協議会をパンフレットを出すといふことになつたが、どうなつたか。又連絡は如何にしてゐるか。

松尾君。評議会を南く宮に駐政上の都合で遷移せしめた実行出来たか、である。

島へ来られた当時は、此の認識が不充分であつたか。それとも幹部のゴマ化してあつたのか。

杉浦君。政党問題については後に議案の時に答弁する。川崎争議を應援したては悪くはない。併し当時の情勢から見ると例へば、総同盟の要求は労働者の本来の要求でない等は、その應援方法には過失があつた。その点を現在認めてゐる。だから今後の方針を決める時、再びかくの如き過失を繰り返さぬやうに掛けてゐる。

長江君(北豊島)。執筆の過失を幹部が自己の雄弁によつて、被ひかくし、済ましてゐるのけよくないと思ふ。下からの議論が動搖して来た時は、全組合員に直ぐにその過失があつたか、否かを明かにすることを

パンフレットの方も野政と人材がないため出せなかつた。たゞ、一つ石川島に關するリーフレットと発行した。連絡は手紙又は役員が先方へ出向いた時には口頭によつてする外はなかつた。

大久君(川崎)。川崎支部の創立が落さるるのは如何いと思ふか。

松尾君。当時の記録が一部紛失してしまつたので、つゞき落しました。

長江君(北豊島)。政党問題と川崎争議に對する態度は過失であつたと思ふが、本野では其の過失さとの程度に於て認識してゐるか。且つて、本澤君が北豊島支部へ来られて過失でないと言明されたか、大会場に出された本部のテープに依ると、当時の過失を認めると言つてゐる。して思ふと、北豊島

必要である。だから、さういふ時は討論會を何なりを用いて、全組合員を教育する。邊を講じて貰ふ度い。以上を執行委員会に希望する。

杉浦君。御希望に従ひ度いと思ふ。

大津君(京橋)。総同盟から向島のビラの件に關して抗議があつた時、本部は如何なる對策をとつたか。どんな解答をしたか。本沢君。総同盟に對しては今後お互ひに注意したい、と云つた。

高田君(北都)。評議会内の金屬協議会の経過を報告して頂きたい。

松尾君。前後二面開いた。カ一回の時には南東から出席出来なかつたが、カ二回には全部出席した。経過は当時の機関紙を参照して頂きたい。